

出席者 会長 鈴木エリ子
副会長 村本 和生
委員 田尾 幹司
委員 久保さとみ
委員 渡部 隆史
委員 川真田 宏 (鴨島東中学校長)
事務局 筒井 紀臣 (鴨島東中学校教頭)
事務局 佐藤 勇人 (鴨島東中学校事務主任)

①開会

②学校長あいさつ

③自己紹介

④会長・副会長選任

会長 鈴木エリ子
副会長 村本 和生

⑤学校経営方針の確認

グラウンドデザイン等の説明→承認

⑥年間行事計画の説明

⑦意見交換

委員 小学校に比べて中学校は敷居が高く、足を踏み入れにくい。コロナ禍で仕方ない部分もあるが、なかなか様子がわからない。以前東中ラリーがあったがコロナ禍では実施は難しいのか。あったときは子どもたちに声をかけることもできていた。

委員 今年5～6月に行事が多くなったので、東中ラリーは実施をしなかった。

委員 経営方針に示されている達成目標の数値はどのように検証するのか。

委員 年末～3学期にかけて生徒や保護者にアンケートを行い、その結果から判断することになっている。

- 委員 公民館行事も小さい子は来るが、中学生はなかなか参加してくれない。何か中学生が参加できるようなものがあればいいと思うが。
- 事務局 牛島地区で例年6月に小学校の参観日に合わせて実施している防災訓練は卒業生が多く参加している。ここ2年間はできていないが、他の小学校区でもこのような活動があれば、多くの中学生が参加できると思う。
- 委員 各地区ごとの防災訓練は必要なことでもあるし、小学校の卒業生も参加しているので地域との関わりという点で意義がある。資源回収はどうなるのか？
- 事務局 令和元年度までは、夏休み中に自治会単位で保護者（地区役員）や生徒が地域を回ってリサイクル資源を回収し、学校のグラウンドへ集約するという方式で行っていた。令和2年度からは感染対策として地域の方に学校へ持ち込んでもらう方式をとっている。
- 委員 収益はどのようになっているのか。
- 事務局 旧来の方式に比べて4分の1～5分の1になっている。それでも貴重な財源としてありがたく感じている。アルミ缶やスチール缶が利益率が高いことも承知しているが、口をつけて飲むものの回収が感染対策という面からできていない。
- 委員 向麻山のイルミネーションも小学校の児童が減ってきたので、声をかける範囲を広げたら、多くのOBOGらが参加してくれた。
- 委員 こういう伝統が続いていくといいと思う。

⑧閉会